

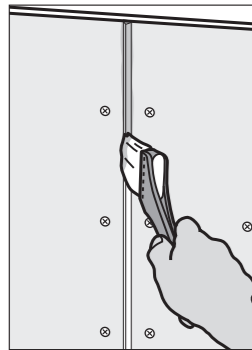
内壁材の施工方法（粉末タイプ）

プラスターボード

※クロスを剥がしたプラスターボードは、14ページをご覧ください。

珪藻土壁材〈エコ・クィーン〉は弾力性がありません。施工前に下地に動きがないか確認の上、施工してください。

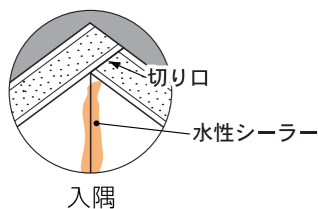
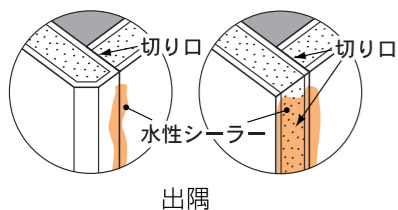
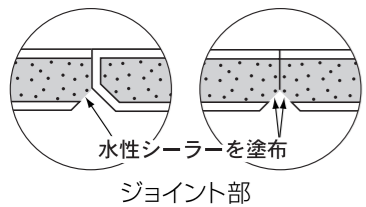
1 石こう部分にシーラー塗布



ボードが裁断されて、中の石こうが見えているジョイント部やコーナー部に水性シーラーを塗って吸水を抑えてください。

吸水抑えが不十分ですと、色ムラの原因になります。

ボード面に墨打ちの線や水性ペンなどによる書きこみがある場合は、濡れ雑巾で拭き取ってください。仕上げ面に出ます。



コーナー定木を使う場合は20ページ参照

2 目地埋め（ビス穴凹み埋め）

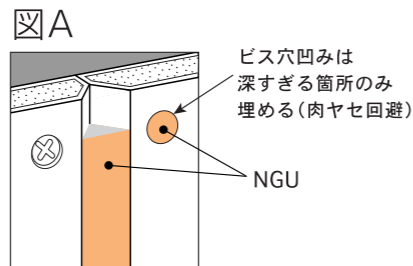


固めに練った下塗材〈NGU〉で埋める。
(肉ヤセ回避)

ボードのジョイント部のV字溝を下塗材〈NGU〉で埋め、ボード面と平滑になるよう余分な材料をしごき取ってください。
(図A参照)

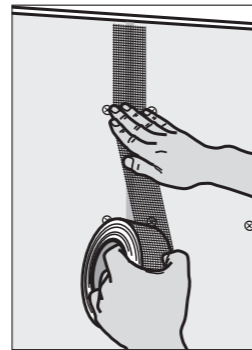
深すぎるビス穴凹みや大きなすき間がある場合も、同様に埋めておきます。
(1mm程度のビス穴凹みは埋める必要はありません。)

市販のパテ材は使用しないでください。色ムラの原因になります。



図A

3 ファイバーテープ貼り

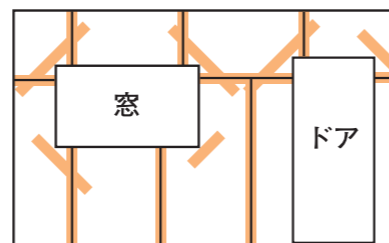


ボードの継ぎ目(ジョイント部・出隅・入隅)、および、開口部(窓・ドア)の角にファイバーテープを貼ってください。

(図B・C参照)
のり付きではないファイバーテープの場合は、タッカーで留めてください。

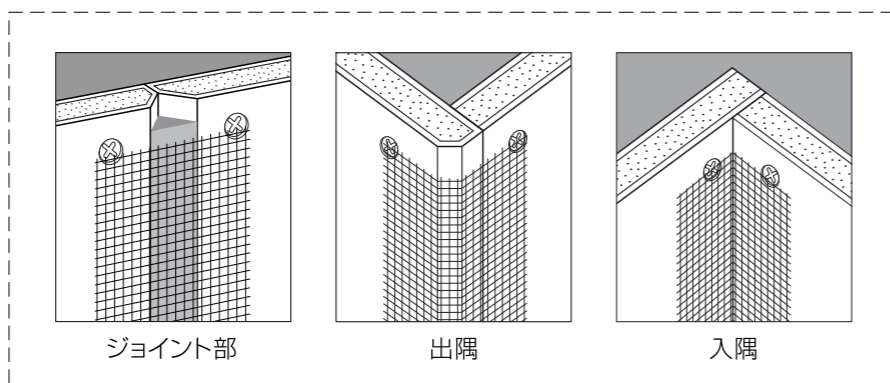
ファイバーテープは、よじれたり浮いたりしないようしっかりと密着させてください。

図B

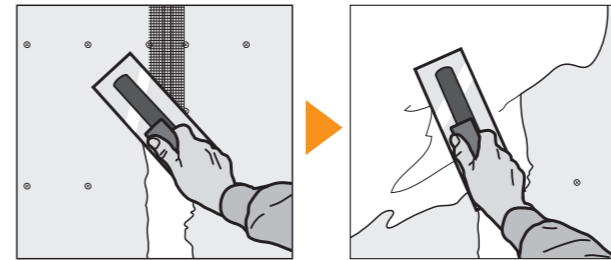


開口部の角にも貼って補強

図C



4 下塗り



ファイバーテープ部分をしごき塗りしながら全面に下塗材〈NGU〉を塗ってください。

(標準施工厚: 1mm)

下塗りで平らな面を作っておくことが、仕上材をきれいに塗るためのポイントです。

厳寒期は、凍結させないように配慮してください。



注意

- 仕上げ塗り完了後、4～5日間は、室内が多湿状況にならないよう換気を心がけてください。乾燥までに多湿状況がつづくとき色ムラが起こる場合があります。
- 仕上材の塗り厚が薄すぎた場合、結露防止等の機能が落ちるだけでなく、硬化不良(ドライアウト)を起こして粉っぽい仕上がりになることがありますので、ご注意ください。

乾燥

5 仕上げ塗り

仕上材を塗ってください。
(標準施工厚: 2mm)

仕上げ塗りの要領は26ページ